

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市橋りサイクルコミュニティセンター	評価対象年度	平成27年度
事業者名	・事業者名 テスコ株式会社 ・代表者名 小林 千尋 ・住所 東京都新宿区信濃町34番地	評価者	減量推進課長
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	所管課	環境局生活環境部減量推進課

2. 事業実績

利用実績	平成27年度総来館者数 16,564名(前年度比940名増) 再利用品展示・提供コーナーの利用者数が前年度と比べて1,130名増加しており、家具類応募者総数も305件増加した。 ※詳細は「橋りサイクルコミュニティセンター別紙資料」参照
収支実績	1 収入 (1)予算額 21,067,361円 【内訳】・指定管理料18,939,047円 ・利用料金収入47,000円 ・その他収入335,314円 ・自主事業収入1,746,000円 (2)決算額 21,548,600円 【内訳】・指定管理料18,939,047円 ・利用料金収入51,400円 ・その他収入160,653円 ・自主事業収入2,397,500円 2 支出 (1)予算額 20,299,361円 【内訳】・事業活動19,321,361円 ・自主事業978,000円 (2)決算額 21,364,729円 【内訳】・事業活動19,901,618円 ・自主事業1,463,111円 ※詳細は「橋りサイクルコミュニティセンター別紙資料」参照
サービス向上の取組	平成27年度は、リサイクル家具の展示内容・方法を工夫し、また、常設フリーマーケットにて半額セールを実施する等、展示コーナーを充実させたことが施設利用者の増加に繋がった。前年度に引き続き、施設近隣1万5千世帯へ施設の紹介チラシを配布し、地域住民への広報を積極的に行った。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者のニーズ等を捉えるための具体的方策を実施しているか	14	4	11.2
		利用者ニーズ等を適切に分析しているか。			
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
	事業成果	事業実施における自己評価を行っているか。	8	4	6.4
当初の事業目的を達成することができたか					
(評価の理由) 来館者数の多い時期に利用者満足度調査を集中的に実施することで、来館者の特徴を把握し、利用者ニーズ等の分析を行っている。牛乳パックを利用した工作教室や不要になったTシャツ等からの草履作成等のリサイクル教室開催、また、自主事業として、常設フリーマーケットやリサイクルバザーを実施することで、環境に対する市民意識の向上を図り、リサイクルに関する啓発を行った。					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	11	4	8.8
		支出に見合う事業が行われているか。			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	3	3	1.8
	適切な金銭管理・会計手続	指定管理経費とその他業務に係る経理を区分し、適切に管理しているか。	6	3	3.6
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
(評価の理由) 指定管理業務に係る収入については、平成27年度予算に対し0.9%少ない約1,915万円であった。平成26年度実績と比較すると、利用料金収入は増加したが、リサイクル・啓発等事業及び自動販売機・売店経営等は収入減となった。自主事業による収入については、平成27年度予算に対し37.3%多い約240万円であった。常設フリーマーケットに関しては、半額セールの実施、アイテム選別・価格見直しにより収入の増加がみられた。日々の販売活動の実施により安定した収益を得ている。 指定管理業務に係る支出については、契約内容の見直しにより保安警備費・通信費の支出を抑えたが、スタッフの昇給等による人件費の増加、チラシ作成等による広報活動強化に伴う支出の増加により、平成27年度予算に対し3%多い約1,990万円であった。自主事業に関する支出については、平成27年度予算に対し49.6%多い約146万円であった。近隣へのチラシ配布等による自主事業運営費用の増加、自主事業による収入の増加により川崎市への充当額が増えたためである。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	8	4	6.4
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	業務の遂行にあたって、現状分析、課題把握に取り組んでいるか。	6	4	4.8
業務改善が必要な場合に、改善策の検討と実施が行われているか					
利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	6	4	4.8	
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由) 課題である「施設の認知度向上」のため、平成27年度から施設スタッフによる「広報広告定期検討会」を定期的に開催。施設の近隣へ施設紹介チラシを1万5千部作成・配布する等、広報活動を充実させた。 リサイクル家具の展示提供については、バランスよく家具を配置するように工夫し、利用者の要望に合わせた提供を心掛けている。 新規講座(古布のリフォーム・小物作り教室)については、開講当初、講座の難易度が高いことから参加者の獲得に苦慮したが、スタッフと講師による打合せを行い、講座内容を見直す等の改善を行っている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	6	3	3.6
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修・会議等が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	2	3	1.2
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守るができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	4	3.2
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築しているか。			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	3	2.4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	2	3	1.2	
(評価の理由) 月例報告会の開催や随時の連絡により、適宜、所管課へ報告を行っている。採用時教育研修、日常教育研修を実施し、担当者のスキルアップが図られている。防災訓練を実施し、災害時に迅速かつ的確な対応が行えるように備えている。個人情報保護等、コンプライアンスの実践に取り組んでいる。再生家具運搬スタッフの作業の負担が軽減されるように改善を図っている。夏の時期に「クールシェアスポット」の登録を行い、「クールシェア」の取組を推進した。また、グリーン購入や、ごみ分別意識の向上、省エネ対策を行う等、環境に配慮した業務が行われている。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	20	3	12
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	清掃業務	施設内の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	植栽管理	植栽等の維持管理を適切に実施しているか。			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
(評価の理由) 施設・設備の保守管理や管理記録の整備・保管が適切に行われ、日常清掃や定期清掃の実施により、施設内の清潔さを保持し快適に利用できる環境を維持している。警備業務、植栽管理についても適正に執行し、施設利用者が安心して快適に過ごせる環境を整備している。また、備品台帳の作成や棚卸しの実施、必要備品を調達することにより、備品管理が適切に行われている。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	71.4	評価ランク	B
-------	------	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>市民による廃棄物の再利用及び再生利用に係る活動への支援並びに廃棄物に係る市民への環境学習を行う施設として、条例、規則等に定められた施設管理・運営、事業運営が適正になされている。</p> <p>来館者数の多い時期に利用者満足度調査を実施し、幅広い利用者層からの意見を聴取する等、意見・要望の収集方法を工夫している。</p> <p>リサイクル家具の展示内容・方法を工夫する、常設フリーマーケットにて半額セールを実施し集客を行う等、展示コーナーを充実させることで利用者増加に向けた取組を実施している。</p> <p>既存のリサイクル教室に加えて、「生ごみ堆肥リサイクル(ダンボールコンポスト)学習会」や「緑のカーテン栽培」等、新たな学習内容の試みを行っている。</p> <p>施設の認知度向上のため、「広報広告定期検討会」を開催することにより、広報活動の充実を図っている。</p> <p>全体的に安定した施設管理運営を行い、リサイクルの啓発、利用者サービスの向上に努めていることから、適正な指定管理業務を実施したと評価する。</p>
--

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>広報活動の充実、リサイクル家具の配置の改善等により、施設利用者数が増えているため、今後も利用者の拡大に向けて取り組むとともに、更なる施設の認知度と魅力向上に努めること。</p> <p>平成27年度から施設スタッフによる「広報広告定期検討会」を開催しているが、引き続き、施設の認知度向上のため様々な媒体を活用した広報の拡充を図ること。</p> <p>リサイクル講座・教室の充実等により、環境に対する市民意識の向上を図り、リサイクルに関する啓発を行うこと。</p> <p>利用者からの意見を集約し、利用者ニーズや時代の変化を捉え、適宜、事業内容を見直すこと。</p> <p>リサイクル家具類の展示・提供、リサイクル教室の開催、古布のリサイクル等により、リサイクルの実践や様々な教室の開催、情報提供等を通して、リサイクルへの支援や環境学習を実施し、施設の設置目的に即した運営を行うこと。</p>
---

橘リサイクルコミュニティセンター別紙資料

橘リサイクルコミュニティセンター利用者実績 (単位：人)

	H27 年度	H26 年度	増減	H25 年度 (参考)
再利用品展示・提供コーナー	15,117	13,987	1,130	12,776
学習室	185	232	△ 47	242
実践コーナー	215	231	△ 16	240
会議室	827	815	12	756
施設見学等	220	359	△ 139	861
合計	16,564	15,624	940	14,875

	H27 年度	H26 年度	増減	H25 年度 (参考)	
家具類等出展数	480	480	0	480	
家具類入場者数	15,117	13,987	1,130	12,776	
家具類応募者総数	5,963	5,658	305	4,796	
内訳	家具類応募者数 (来館)	5,263	5,017	246	4,235
	家具類応募者数 (インターネット)	700	641	59	561
当選平均倍率	12.4	11.8	0.6	10.0	

※当選平均倍率とは、家具類応募者総数を家具類等出展数で除した数値です。

	H27 年度	H26 年度	増減	H25 年度 (参考)
古布類持込量 (k g)	8,629	9,827	△ 1,198	9,744
廃食用油持込量 (L)	298	223	75	260

橘リサイクルコミュニティセンター収支決算 (単位：円)

		H27 年度予算	H27 年度決算	H26 年度決算	増減額	増減率 (%)	H25 年度決算 (参考)
収入	①事業活動収入	19,321,361	19,151,100	19,187,210	△ 36,110	△0.2%	18,221,356
	指定管理料収入	18,939,047	18,939,047	18,931,371	7,676	0.0%	17,964,915
	利用料金収入	47,000	51,400	42,600	8,800	20.7%	40,400
	その他収入	335,314	160,653	213,239	△ 52,586	△24.7%	216,041
	②自主事業収入	1,746,000	2,397,500	2,539,130	△ 141,630	△5.6%	1,837,930
	合計 ①+②	21,067,361	21,548,600	21,726,340	△ 177,740	△0.8%	20,059,286
支出	③事業活動支出	19,321,361	19,901,618	19,578,695	322,923	1.6%	18,055,169
	④自主事業支出	978,000	1,463,111	1,541,031	△ 77,920	△5.1%	1,081,761
	合計 ③+④	20,299,361	21,364,729	21,119,726	245,003	1.2%	19,136,930
収支差額		768,000	183,871	606,614	△ 422,743	△69.7%	922,356